

単元名：

「いるかはざんぶらこ」

(全2時間扱い中 第2時)

授業日時 2019年8月30日(金)第4校時

授業学級 2年西組

授業会場 こまくさルーム

授業者

指導者

(1) ねらい

児童は、バンブーダンスを通して、三拍子の拍を感じながら歌うことができる。

(2) 授業のポイント

- ・打楽器を用いリズム伴奏をうつ場面で、三拍子に触れ合う子ども達が、三拍子の拍を感じた。【前時までの子どもの様子】
- ・バンブーダンスを通して、三拍子の拍を感じ、楽しみながら歌えるようにする。【授業者の手立て】

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◎児童の反応・◇留意点・★教材	時間
導入	1. バンブーダンスに出会う。	★実習生が児童の前でバンブーダンスをする。 (意図) 子どもたちがバンブーダンスに初めて出会い、やってみたいと思えるように教師は楽しく行う。 ◎「先生たち何やってるの?楽しそう」 ◎「〇〇先生失敗した～」 ◎「何それ～」 ○「このリズムは何拍子のリズム?」 (意図) 子どもたちがバンブーダンスは三拍子ではないかと考え、前時で歌ったいるかはざんぶらこに合わせられないかと疑問を持てるように教師は拍子に気づかせる。 ◎「三拍子?」 ○「前回の授業で歌ったいるかはざんぶらこの曲に合わせられるかな?」	3
	問題:三拍子の曲にバンブーダンスは合わせられるのか?		
	2. このバンブーダンスが前時で聴いた「いるかはざんぶらこ」に合わせられることに気づく。	★いるかはざんぶらこのリズムに合わせ、実習生はバンブーダンスをする。 ★スクリーンにいるかはざんぶらこの楽譜を見せる (意図) 子どもたちが自然と口ずさめるようにする。 ◎「曲に合っている」 ◎「何これ!楽しそう」 ◎「難しそうだけど、やってみたい」	5
【学習課題】バンブーダンスをし、拍を感じながらいるかはざんぶらこを歌おう			
展開	3. バンブーダンスのやり方を習得する。	○「5～6人のグループを作ります」 ◇グループは普段の整列順に指定する。 ○「バンブーダンスのやり方を説明します」 (意図) 子どもたちが初めてやる活動に抵抗が出ないよう	7

	4. 音楽に合わせてバンブーダンスをする。 5. 歌を歌いながらバンブーダンスをする。	に教師は丁寧に動きの説明をする。 ◎「難しそう」 ◎「はやくやりたい」 ◇棒で遊ばないことを約束させる ○「棒を持つ人、飛ぶ人を交替しながら練習してください」 ★動画を流しておく （意図）途中で分からなくなった子どもたちが動画を見ることができるように流しておく ◇難しそうにしている子どもに対し、個別支援を行う。 ○「1, 2, 3・・・」 （意図）子どもたちが三拍子を意識できるようにする。 ◎「できてきた」	15
		★いるかはざんぶらこを流す。 ○「1, 2, 3・・・」 （意図）子どもたちがタイミングを逃さず、拍を感じるができるように教師は三拍子の拍を口で言う。 ○「合わせて歌ってみてください」 ◇交代しながらできるように適宜促す。 ◎「難しいけど、リズム感じながら歌を歌うの楽しい」 ◎身体でリズムを感じながら歌を歌う。	10
		【評価（対象）】三拍子の拍を感じて歌うことができる	
終末	6. 授業の感想を発表する。	○「今日の授業の感想を発表してくれる人？」 ◎「バンブーダンスが楽しかった」 ○「いるかはざんぶらこの曲に合わせられた？」 ◎「1, 2, 3のリズムでできた」	5